

自然の恵みに 真心をこめて

とちの実の里
とちの実の香



とちの実 は昔から不老長寿の実、漢方薬として珍重されてきました。

自然の厳しい雪国の庄内、朝日の里で産まれた“とちの実”を生かし素朴な風味と独特の香ばしい味を菓子にしてみました。

庄内名物

とちの実かりんと

第二十一回全国菓子博覧会金賞受賞

かりんとうと言えば、固く甘い菓子と言うイメージがありますが、とちの実かりんとは庄内地方で昔から造られているかりんとうに、とちの実を入れ独自の技法で現代風に柔らかく仕上げ、かりんとうのお子様までどなたにも喜ばれご好評頂いております。



あん入りとち餅

お好きなときにいつでも

とち餅

とち餅 真空パック

焼いてあん餅にしたり、のりを巻いたり、納豆、しょうゆ、きなこなどをつけてお召し上がり下さい。その他、とちの風味を生かして、いろいろな食べ方があります。



とちの実 羊羹

自然食品のとちの実をふんだんにとり入れ、とちの実独特の味とまろやかさが自慢です。



とちの実 せんべい

このせんべいは自然食品のとちの実を入れ、職人が一枚一枚心をこめて焼き上げました。ほんのりした香り、ほどよい甘味、味を染しむごひいき様に喜ばれております。



とちの実 健康茶

とちの実 は昔から生薬名を「七葉樹」といい薬用としても知られています。便通を良くしたり動脈硬化、高血圧などの成人病予防に役立ちます。自然から生まれた、とちの実 は健康と幸せの源です。どうぞご愛顧下さい。



昔なつかし だまのたがし

全国菓子博覧会 金賞受賞



からがら 福徳せびい

鶴岡に昔からあった駄菓子で、せんべいの中におもちやを入れ、振ると「カラカラ」と音がしました。恵比須様や大黒様も入っていたことから、福徳せんべいとも呼ばれています。今は民芸品なども入れ、郷土色豊かな夢のあるお菓子です。



●とちの効用●

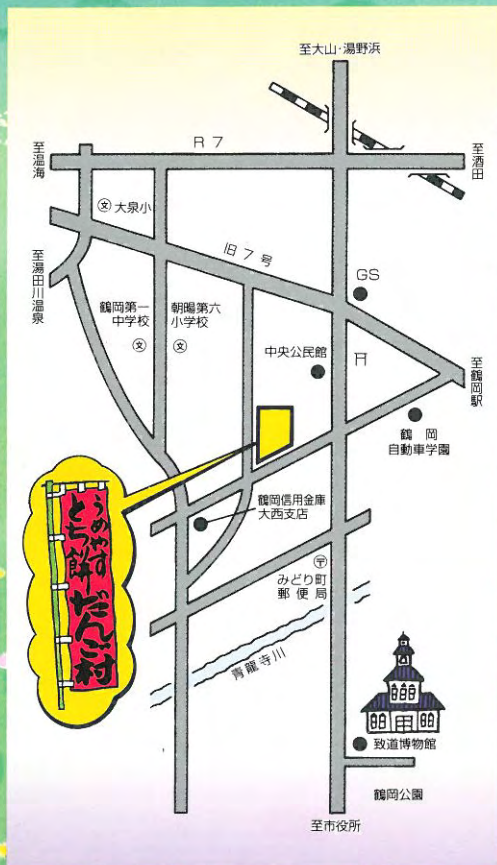
- とちの実を肌身はなさず持っていると同風にかからない。
- とちの実を餅にして食べるとアルカリ性になる。
- リュウマチにとちの実を煎じて飲む。
- とちの実を煎じて飲めば食あたりに良い。
- 打ち身、しもやけ、下痢止め、気管支炎に効く。

『日本俗語辞典』より

お問い合わせ

うわやす
とち餅だんご村

山形県鶴岡市大西町19-4
TEL 0235-22-2147
FAX 0235-24-7498



「自然の恵みに
真心をこめて……」

とちの実シリーズ
ご紹介のしおり



らめやす
とち餅だんご村

とちの実には昔から不老長寿の実、漢方薬として珍重されてきました。自然の厳しい雪国の庄内、朝日の里で産まれたとちの実を生かし、素朴な風味と独特の香ばしい味を菓子にしてみました。自然色豊かなとちの実シリーズをどうぞ利用下さいませ。

庄内名物 とちの実かりんと



第24回全国菓子博覧会金賞受賞

かりんとうと言えば、固く甘い菓子と言うイメージがありますが、とちの実かりんとは庄内地方で昔から造られているかりんとうに、とちの実を入れ独自の技法で現代風に柔らかく仕上げ、かりんとうの味がお年寄りからお子様までどなたにも喜ばれご好評頂いております。



◀とちの実かりんと贈答用

甘さをおさえて
かりんとソフト
全国どこでも大好評!!

紅花かりんと



山形県の県花、紅花は遠い昔エジプトより持ち込まれたと伝えられています。この紅花に含まれるリジンを生かした山形名物にふさわしいかりんとです。

これはおぼげだ
饅頭の中に餅がまるごと。

おぼけ餅饅頭



おぼげだちゃと言うのは、庄内地方の方言でおどろいたということです。

山形の産物として昔から健康自然食品として珍重されている、とちの実と庄内特産の白山だだちゃ豆（味の良さは天下一品）を餅に入れて、まるごと饅頭の中にお納めしました。だだちゃとは家の大黒柱、お父さんという意味です。

とちの実健康茶



とちの実には昔から生薬名を「七葉樹」といい薬用としても知られています。便通を良くしたり動脈硬化、高血圧などの成人病予防に役立ちます。自然から生まれた、とちの実には健康と幸せの源です。どうぞご愛顧下さい。

お好きなときに いつでも

とち餅真空パック



●とち餅の食べ方●
焼いてあん餅にしたたり、のりを巻いたり、納豆、しょうゆ、きなこなどをつけてお召し上がり下さい。
その他、とちの風味を生かして、いろいろな食べ方があります。

からからまるやま福德せんべい

鶴岡に昔からあった駄菓子でせんべいの中に面白いおもちゃを入れ振ると「カラカラ」と音がしました。恵比須様や大黒様も入っていたことから福德せんべいともよばれています。郷土色豊かな夢のあるお菓子です。



●とちの木●

木は高さ30mに達し、春、枝先に白く大きい花を穂のようにつける。果実は径4cmほどの球形で、熟すと3片に裂けて、中から栗褐色のつやのある種子がでてくる。

この種子(実)を、餅やお菓子、それに薬用に使用する。また、花穂からとれるハチミツは高級品である。



とちの花▶



◀とちの実



とち餅▶



●とちの効用●

- とちの実を肌身はなさず持っているとお風にかからない。
- とちの実を餅にして食べるとアルカリ性になる。
- リュウマチにとちの実を煎じて飲む。
- とちの実を煎じて飲めば食あたりに良い。
- 打ち身、しもやけ、下痢止め、気管支炎に効く。

「日本俗語辞典」より

お問い合わせ

ろめやす
とち餅だんご村

山形県鶴岡市大西町19-4

TEL 0235-22-2147

FAX 0235-24-7498